

各位

会社名 株式会社エイジス
 代表者 代表取締役社長 福田 久也
 (東証スタンダードコード番号:4659)
 問い合わせ先 取締役経営企画室長 原田光幸
 TEL 043-350-0911

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2024年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり当期 純利益
前回発表予想(A)	百万円 26,400	百万円 2,850	百万円 2,931	百万円 1,963	円 銭 233.08
今回修正予想(B)	29,000	2,450	2,531	1,686	200.10
増減額(B-A)	2,600	△400	△400	△277	
増減率(%)	9.8%	△14.0%	△13.6%	△14.1	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期 通期)	26,062	2,804	2,926	1,870	222.15

(2) 個別業績

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 15,300	百万円 2,481	百万円 1,684	円 銭 199.95
今回修正予想(B)	15,500	2,211	1,500	178.02
増減額(B-A)	200	△270	△184	
増減率(%)	1.3%	△10.9%	△10.9%	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期 通期)	15,836	2,524	1,692	201.06

【修正の理由】

通期連結業績予想につきましては、2023年8月23日に開示いたしましたとおり、株式会社 mitoriz を子会社化したことに加え、商品補充サービス及び店舗改装サービスにおける主要顧客からの受注店舗数の増加、海外棚卸サービスでは、新型コロナウイルス感染症への行動制限の緩和による経済活動の正常化に伴い受注状況が回復傾向で推移しているなどの理由により、売上高は当初予想を上回る見通しとなりました。

一方で、国内事業において社員のベースアップや従業員の賃上げ実施に伴う人件費の増加が主な要因となり、営業利益及び経常利益、親会社株主に帰属する純利益は当初予想を下回る見通しとなりました。

通期個別業績につきましては、これまで売上高の減少要因でありました一部顧客における棚卸回数の減少及び商品在庫数量の減少傾向が鈍化していることに加え、実施条件変更による受注店舗数の増加や新規顧客の獲得を見込むことから売上高は当初予想を上回る見通しとなりました。一方で、社員給与のベースアップや嘱託社員の賃上げ実施に加え、事業活動の正常化に伴う各種費用の増加、新規顧客層の開拓を目的としたマーケティング費用の増加により、経常利益、当期純利益は当初予想を下回る見通しとなりました。

このような経営環境を踏まえ、2023年5月15日に発表いたしました「2023年3月期決算短信」に記載の連結業績予想及び個別業績予想を上記のとおり修正いたしました。

なお、配当につきましては、従来予想（1株当たり80円）に変更はありません。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

以上